





正気か？

デザートに
アイスもあります

ああ
そうでした
先生



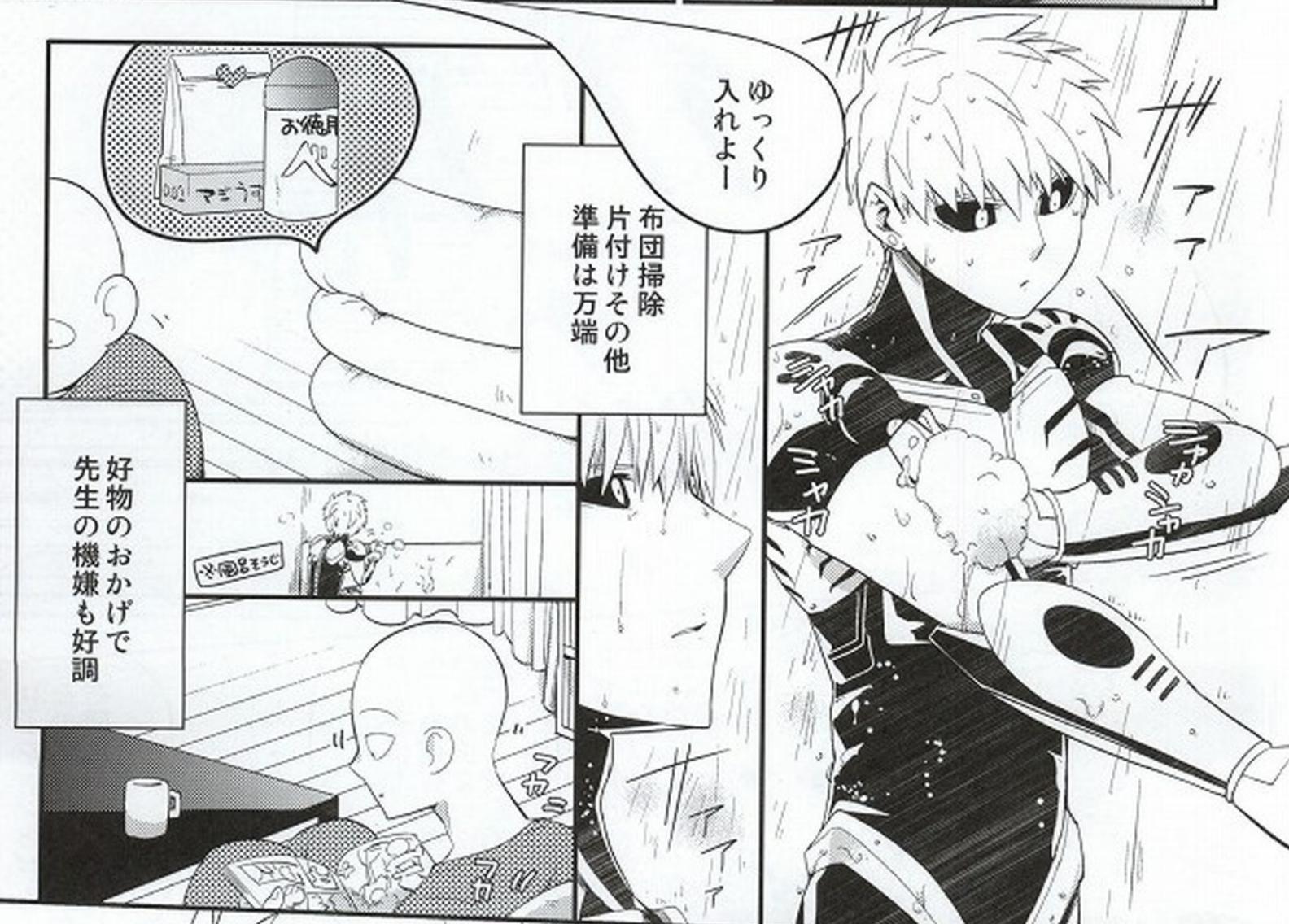
単に
深安かつたからです
下さり！
読みしないで

今から
怒られるのか？

もしかして俺
ジエノス君に
何かしました？





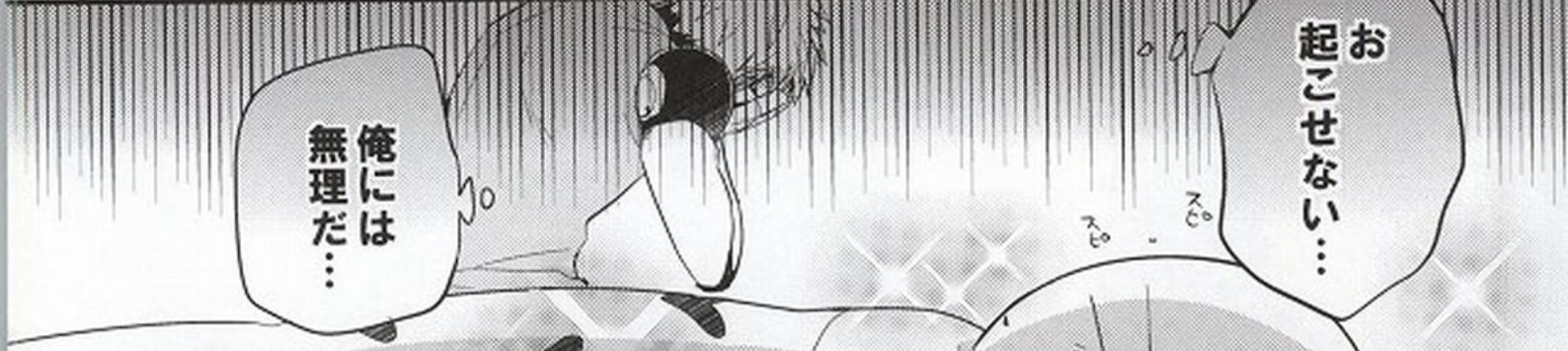
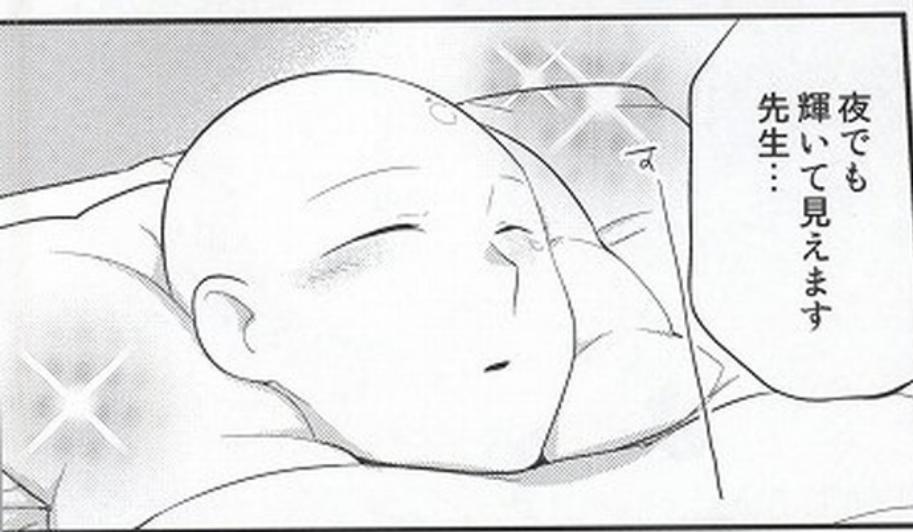


ローションとゴム
その他諸々の道具は
布団の下に準備万端





寝てる





SLEEP MODE

Then the mode is turned
to the sleep mode...



さて
これから一体
どう作戦を練るか…

押しに弱く
雰囲気に流されやす…
大らかな先生だ

- なおヒーローって誰が好き?
- 1:名も無きヒーロー キングさん一択だろ
 - 2:名も無きヒーロー 無免好きだよ
 - 3:名も無きヒーロー ハグマン特選?
 - 4:名も無きヒーロー ハグマンはねーよあのインチキ
- >>削除申請フォーム
内容【個人を侮辱する不適切な発言】

機嫌でも悪くなれば
大抵の事は
適当に流してしまう

なので
適度に心地よい
空間を作れば
簡単に持ち込めると
踏んだが：

寝落ちの可能性は
考慮していなかつた

また敗北した

今夜は予め
昼寝をさせてみるか

しかし
先生の幸せそうな
顔を見るとつい：

もう少し
手を抜いた方が
良かつたか：

いやそれだと
先生の生活リズムが
崩れてしまう

駄目だな…
考えれば考えるほど
無理な気がしてきた…



何のために

俺は

あの人があの人が
俺だけのモノ
だと知りたい

先生が
一線の向こう側で
どんな顔を
するのか見てみたい

もっと先生のように
シンプルな目的を
立ててみよう

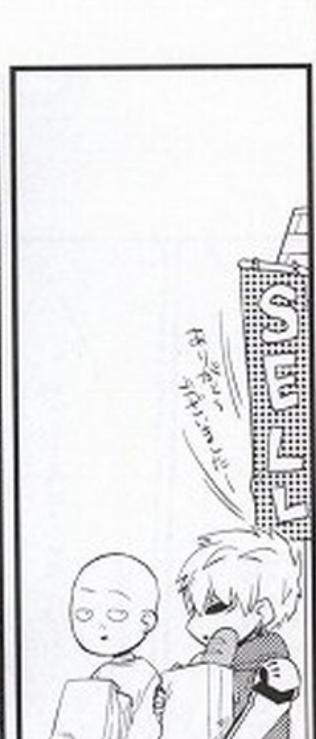
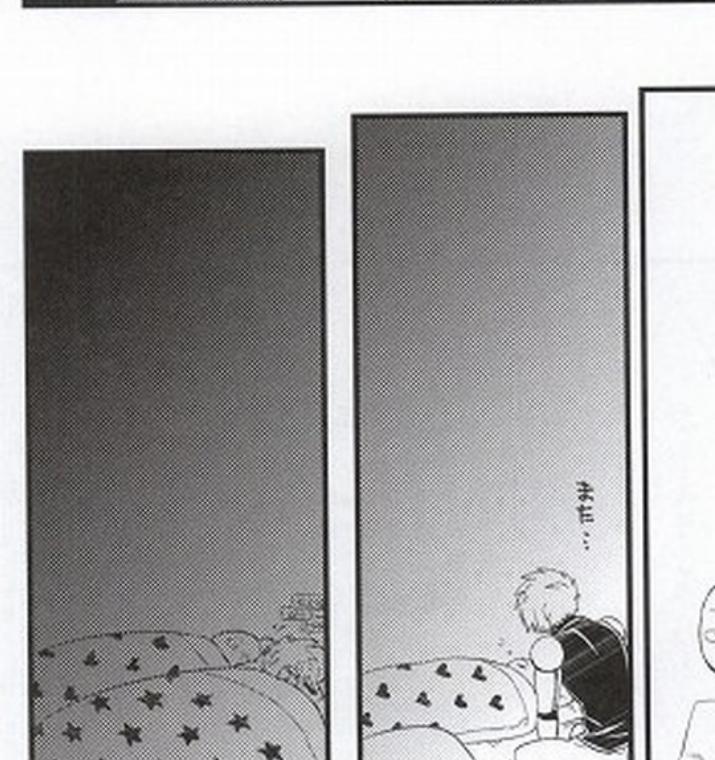
目的…

今夜も
フカフカです

布団干し
くれたの

おかえりなさい！

ただいまー



邪な考え方ばかり
しているから
失敗するのだろうか…

先生
朝食が出来ました

起きてください

せっかく
あれこれ計画して
博士に腕まで
作ってもらつたのに…

一体
何が足りない
のだろう…



そうか

わかった

すみません
召集なので
行ってきます。

じゃあ俺も

そう?

じゃあ
セール行つてくる

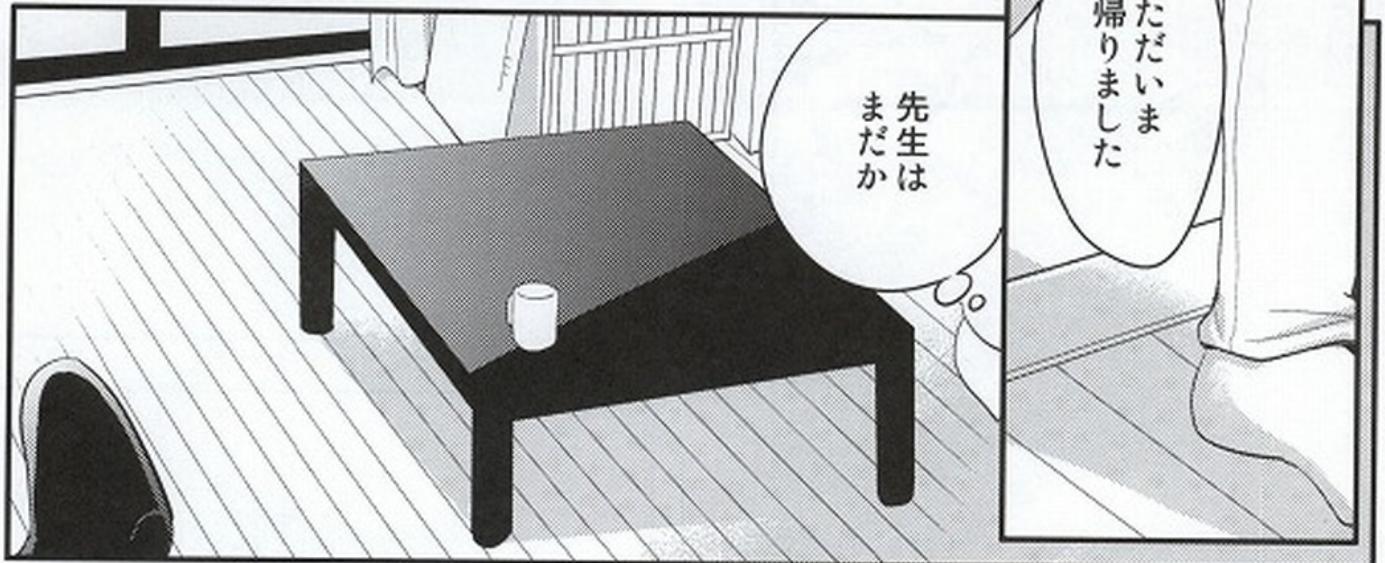
相手は鬼レベルです
修行として俺一人で
やらせてください

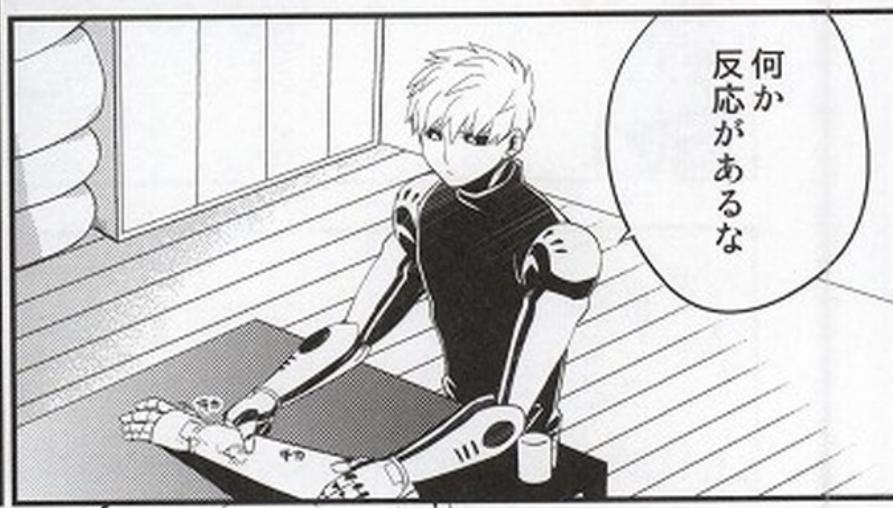
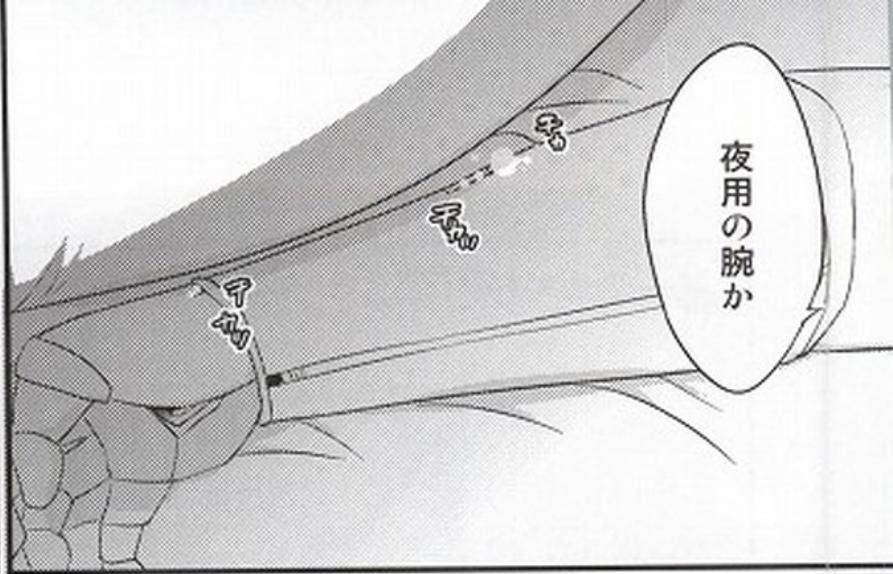
少しでも
量が多いのを
仕留めてくる

今日のむなげや
大感謝セールはや
鳥肉詰め合わせ
3パック598円
個数制限なし
だからな：

カレー味が
食ぢやり！

今夜は
唐揚げだな…



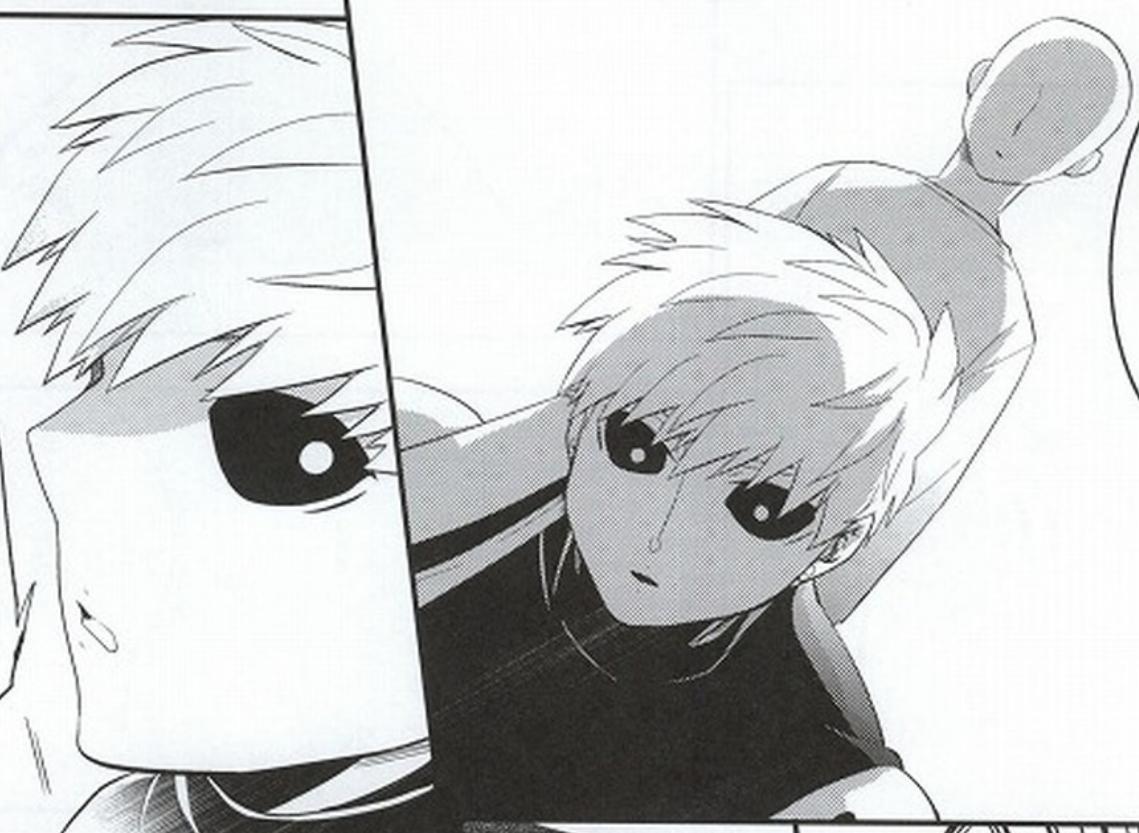


急造で作ったから
スリープモードには
まだ対応して
いなかつたんだな



何やつてんだ？

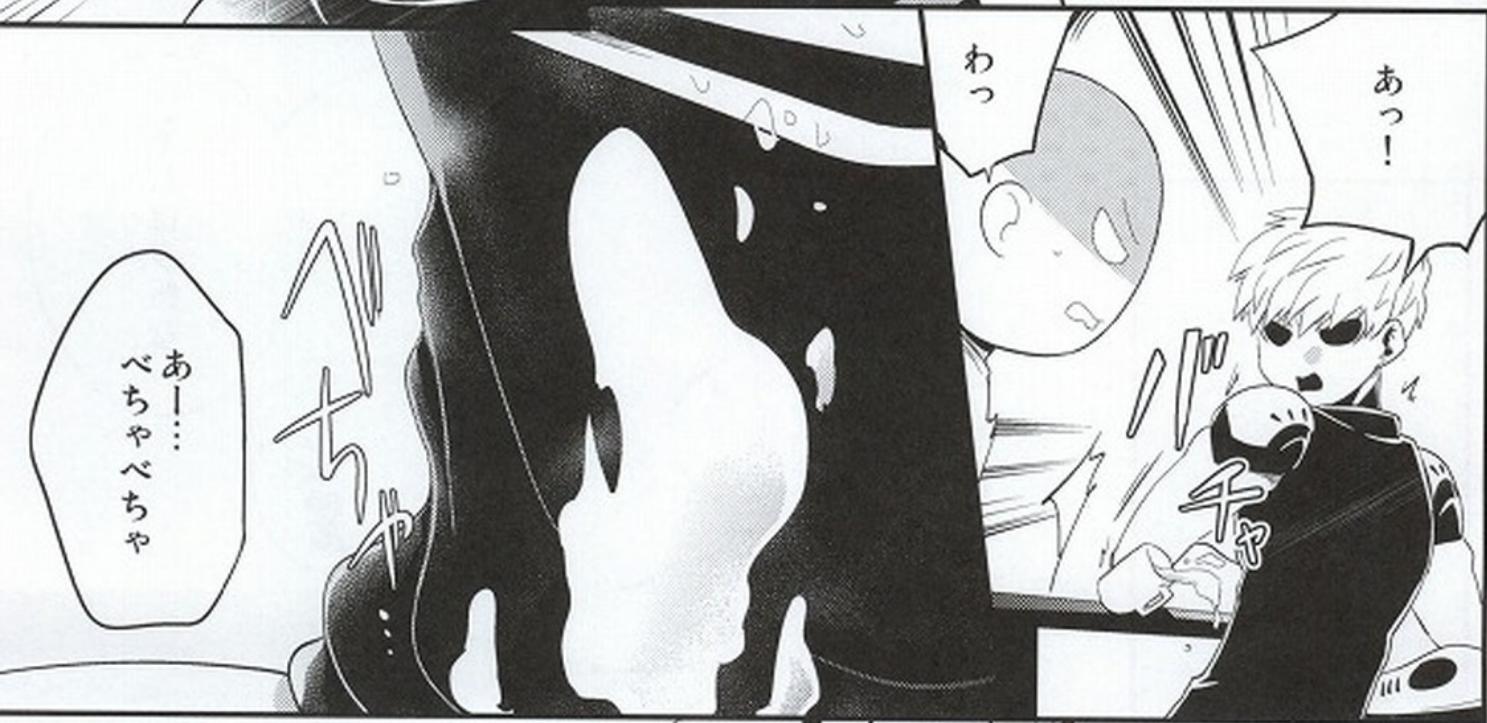
せんせ……っ！



あっ！

あー！
べちゃべちゃ

わっ



これはダメだな
ちょっと早いけど
風呂入つてこい

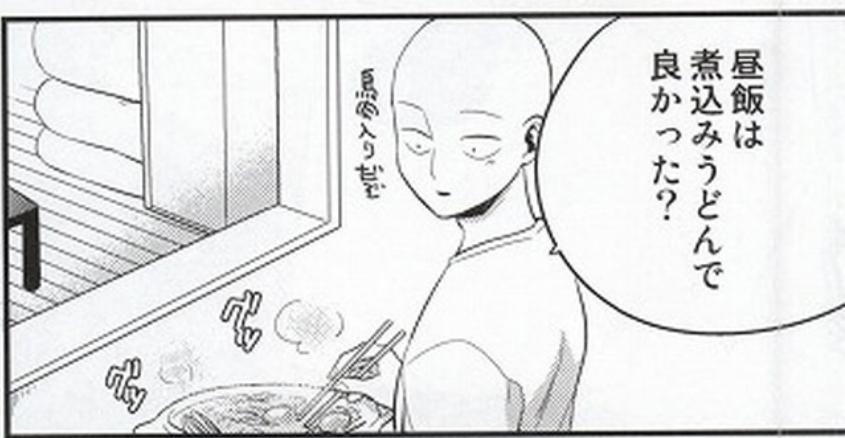
すみません…

たまには
一番風呂もいーだろ

いーから

ありがとうございます
それではお先に





食べるぞー

じゃあ

今日は
ご褒美
ってことで

はい



ほー

ほー



そりや
良かつた

ほいひいれふ！

ジエノス
からあげ
味見するか？

はい！

カレー味

皿おこ







好きです



先生



先生…

起きてますよね

唐突だな

ウトウトしてた
だけだよ

ノ●タジや
ねーんだから
3秒で寝落ちとか
ねーし

でも！

いつも…ですよね

腕に
残っていたのは

眠る俺の腕に触れる
指先の感触と

俺の名前を呼ぶ声

それでも
俺は先生を…

先生と並び立つには
足りない部分
ばかりの男です

先生

俺は

どうして
気付かなかつたのか

疲れてんじや
ねーの？

え

でも今日は
お茶溢してただろ

俺に肉体的疲労の
概念はありません

そんなんで
やつたって
最後まで
持つのかよ

いつも
働きすぎ
なんじやねーの？

先生より
年下で弱くとも
俺だって男です

馬鹿にしないで
ください！

お前
判つ
てこそ
ない

一人の俺が
何考
えてたとか
知ら
ないくせに

お前は自分を
男だつて言
うけど

俺はお前より
ずっと長く
男やつてんだぞ

足りなかつたのは

お前が
洗い物して
る時や
風呂に入つ
てる時

サイタマ先生だ

博士が
人間らしくと
味覚と一緒に

ちゃんと
ついてんだなー

快感もあるの？

はい

はい

あ、
先生…!!

キモ
キモ

モミ

す、

キモ
キモ

ふーん

急所なので
戦闘に影響が
出ないよう

あんまり
ヨくないのか？

感覚を鈍く設定
しているんです！

先生…
あの…程々に…

モミ

モミ
モミ

経過を見て
慣れたら頃に
改めて調整すると
博士は言つて
くれました

大丈夫
ですか？

んんっ…

慣れか：

あ
そろそろ
入りそう

へー

め、



他にも敏感なとこ
ってあんの？

な
あ

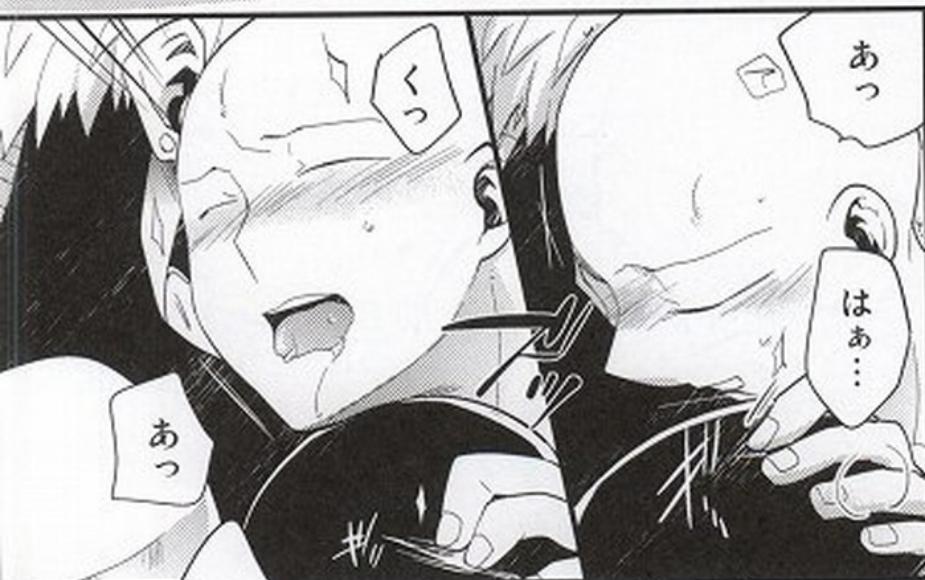


顔周りは
表情を動かす関係で
神経系を比較的敏感に
作っています

同様の理由と
味覚の関係で口内も



生身の脳を守るためにも
繊細に作られているんです





お前つて
ここも
感じるんだろ？

は？



先生は
気持ちいいですか？



…なんで
笑うんですか



はは





先生から与えられる
快感を必死に追うあまり
脳の処理能力を超えて
身体の神経回線が
過剰反応を起こしています



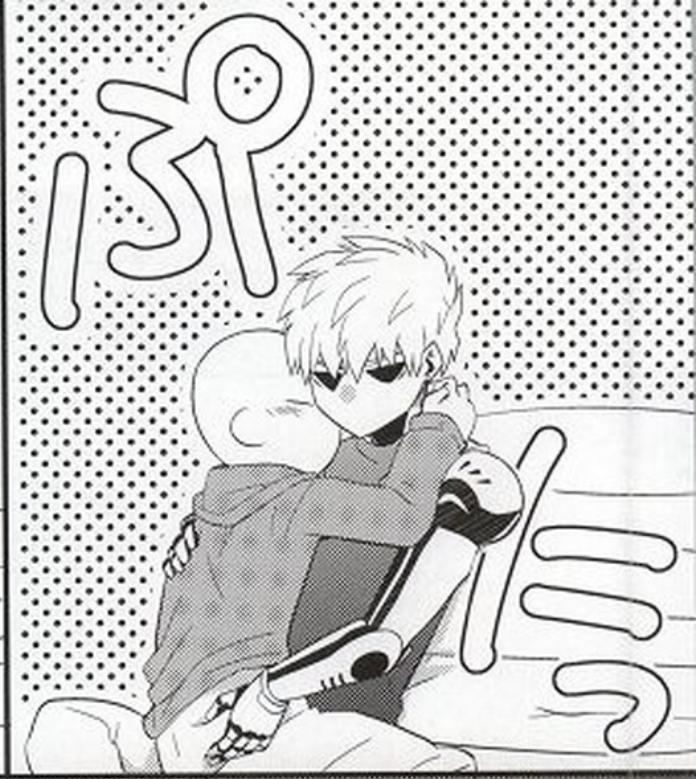
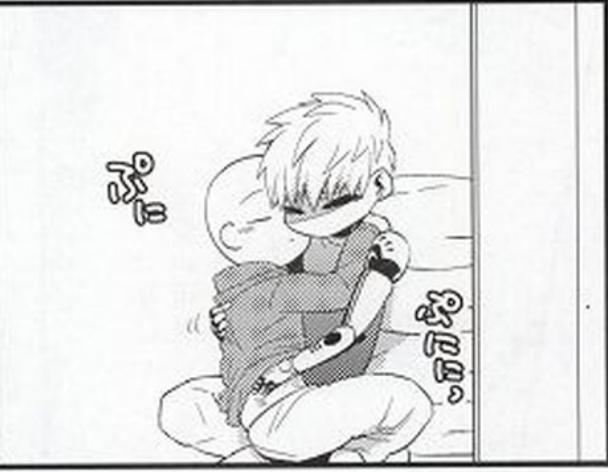




先生

シリラックス
過ぎです

でも
かわいいっ!!





An illustration featuring two characters from the anime One-Punch Man. In the foreground, Saitama is sitting cross-legged on a green sofa, looking down with a neutral expression. He has his signature bald head and is wearing a yellow and orange tracksuit. Behind him, Genos stands with his arms crossed, also looking down. Genos has his metallic, orange and white cyborg body and is wearing a black turtleneck. They are surrounded by a multitude of large, stylized red hearts with white outlines, some floating in the air and others resting on the sofa. The background is a plain, light color.

ONE-PUNCH MAN FANBOOK NO.24

GENOS×SAITAMA 20150315アベレージ